



北条義時って どんな人？

大河ドラマ
「鎌倉殿の13人」主人公

北条義時は、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての武士で鎌倉幕府の第2代執権となりました。伊豆国(現在の静岡県東部地区)の豪族・北条時政の次男として生まれ、姉は源頼朝の妻となる北条政子です。北条義時は、父の時政、姉の政子とともに、源頼朝の活躍を陰日向と支え、鎌倉幕府成立に大きく貢献しました。源頼朝亡き後は鎌倉幕府の実権を握りました。

静岡県伊豆・富士山地域には北条義時や、姉の北条政子、源頼朝など大河ドラマに登場する人物と関わるエピソードを持つ歴史的スポットが多く存在します。本ガイドマップは歴史絵巻としてその歴史的スポットをたどる旅を紹介しています。



新型コロナウイルス 感染防止対策のお願い

お出掛けの際はマスクの着用、
ソーシャルディスタンスの確保をお願いいたします。



- 楽しい旅行中でも感染リスクはありますので、マスクの着用や「三つの密」の回避など感染防止対策を行い旅行をお楽しみください。
- 発熱等の症状がある場合は旅行をお控えください。
- できるだけ混雑する場所と時間を避け、新しい旅のエチケットを守り、安心して楽しい旅をお過ごしください。



ぶしのくに静岡県
WEBサイト



ハローナビずおか
WEBサイト

静岡県 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地
伊豆・富士山周遊促進連絡協議会

事務局 静岡県東部地域局
〒410-0055 沼津市高島本町1-3 TEL.055-920-2139

令和4年1月発行

SAMURAI×SHIZUOKA GUIDE MAP



伊豆・富士山
地域

伊豆・富士山 歴史絵巻 ガイドマップ

- 「ぶしのくに静岡県」とは
- 旅のはじめに予備知識
- モデルコースの紹介
- Webスタンプラリーの開催!
- 伊豆・富士山地域の広域マップと施設紹介

ぶしのくに静岡県

SAMURAI×SHIZUOKA

～「ぶし(武士)のくに」から「ふじ(富士)のくに」へ～

ぶしのくに静岡県とは

静岡県では、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」「どうする家康」(NHK)の放送を契機に伊豆・富士山地域の歴史・文化資源を活用し、本地域への来訪や周遊促進、消費喚起に取り組んでいます。

静岡県伊豆・富士山地域には源頼朝と北条政子が深い信仰を寄せ、江戸時代には徳川将軍も崇拝した伊豆山神社や、源頼朝が源氏再興を祈願した三嶋大社、北条氏ゆかりの願成就院、幕末に開港された伊豆下田港など、武家社会の成立から終焉までに関する歴史・文化資源が多く存在しており、いわば「ぶし(武士)のくに」といえます。本県は「ぶしのくに」を基本コンセプトに地域ブランディングを展開し、持続可能な地域づくりにつなげていきます。



静岡県伊豆・富士山地域20市町を 6つのエリアに分けて紹介

富士山西エリア 富士宮市 富士市	北伊豆エリア 沼津市 三島市 函南町	富士山東エリア 小山町 御殿場市 裾野市 長泉町 清水町
中伊豆エリア 伊豆の国市 伊豆市	東伊豆エリア 熱海市 伊豆市	南伊豆エリア 西伊豆町 松崎町 東伊豆町 河津町 下田市 南伊豆町

ぶしのくに静岡県周遊モデルコース

伊豆・富士山地域には、この他にも魅力的な観光名所や歴史的スポットがたくさんあります。詳しくは「ぶしのくに静岡県」のWebサイトをチェック!



ぶしのくに静岡県のグルメ&観光名所と歴史的スポットをめぐる おすすめコースをご紹介します。



伊豆・富士山歴史絵巻Webスタンプラリー開催!

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」のゆかりの地を巡るスタンプラリーを開催。スタンプラリーに参加してスタンプをゲットし応募すると抽選で「静岡の特産品」が当たります!

スタンプポイント及び参加方法は、右記のQRコードからご確認ください。



富士宮市 A01 富士山本宮浅間大社

源頼朝は、富士山麓で巻狩りを行い流鏑馬を奉納したと言われ、「富士山本宮浅間大社流鏑馬」の起源と言われています。北条義時は、社殿の修復を行いました。

富士宮市 A02 曾我八幡宮

曾我八幡宮の高台に曾我兄弟の供養塔があり、この辺りで、兄の十部祐成が仁田四郎忠常に討たれたと伝えられています。

富士宮市 A03 白糸の滝

幅150mの絶壁から水が湧き出している滝で、富士の巻狩の際に立ち寄った源頼朝は「この上にかかる煙やおはすらん おだまき流す白糸の滝」と歌っています。

富士市 A04 横割八幡宮

富士川の合戦のとき源頼朝が弓矢と馬を奉納し平氏追討の戦勝祈願をして成就したとの伝承から、豊饒あたらかな神様を祀る神社として篤く信仰されています。

伊豆の国大河ドラマ館

大河ドラマ館は、市内ロケを中心としたメイキング映像の上映、ストーリーやキャスト紹介パネル等の展示を行います。大河ドラマの世界観を存分に体験できる施設となっています。

富士市 A05 曾我寺(鷹岳山福泉寺)

境内には曾我兄弟の墓があり、本堂には兄弟の木像や位牌が安置されています。正式には「福泉寺」といいますが、曾我兄弟がねむる寺として人々に「曾我寺」の名で呼ばれています。

沼津市 A06 大泉寺

源頼朝の異母弟、源義経(牛若丸)の実母の阿野全成(今若丸)の居館跡といわれる地に建つ寺です。境内には、全成とその息子時元のお墓があります。



三島市 A07 三嶋大社

源頼朝は、三嶋大社を崇敬し、「源氏再興の旗挙げの日」を三嶋大社の祭礼の日と定め、治承4年、伊豆国の目代山木兼隆を討ち取りました。

函南町 A08 高源寺

源頼朝が石橋山の戦いに挑む際の旗揚げの地で源氏再興の密議をしたと伝えられている。苔むした石段は非常に風情があります。敷地内には比企尼のものと思われる供養塔があります。



西伊豆エリアの夕陽

伊豆西海岸には「日本の夕陽百選」にも選ばれた大田子海岸と堂ヶ島海岸があります。

西伊豆町 A25 三四郎島・瀬浜

源氏再興の昔、「伊豆の三四郎」と呼ばれる若武者が、中の島にきびしい平家の追討の目を逃れて隠れ住んでいたと伝えられています。

松崎町 A26 文覚山円通寺

その昔、妙智山・円通寺と称して、観音菩薩(弘法大師の作と伝えられる)を祀ったことを起源とするお寺です。文覚上人の像があります。

熱海市 A20 伊豆山神社

源頼朝が北条政子と共に深い信仰を寄せ、伊豆山神社の加護のもとで平家を打倒し、鎌倉幕府を樹立して征夷大将軍となるに至る歴史の舞台となりました。



東伊豆町 A27 稲取八幡神社

平安時代末より源氏との縁が深く、境内の井戸は源頼朝が参拝の時に身を清めたと伝えられています。頼朝が守り本尊にしたと伝えられる仏像を奉祀しています。

河津町 A28 河津八幡神社

この地は河津三郎祐泰の館跡と言われています。河津の地を領した河津三郎祐泰とその子曾我十部祐成、五郎時致の霊を八幡神社に合祀しています。

熱海市 A21 十国峠(源実朝の歌碑)

峠の最高部には、三代将軍実朝が箱根・伊豆山の二権現と三嶋大社を参拝する「二所詣」の際に詠んだ歌の歌碑が建てられています。

熱海市 A22 走り湯

相模の海に臨む「走り湯」は、日本でも珍しい横穴式源泉で、日本三大古泉の一つです。明治以前は伊豆山神社の神湯として信仰されていました。

伊豆市 A17 修禪寺

源頼朝の弟、源範頼と2代将軍源頼朝が幽閉された寺とされ、ご本尊である本造大日如来坐像はその頃に仏師実隆により造られたもので国の重要文化財です。

下田市 A29 田牛八幡神社

寛政12年(1800年)に刻まれた、「遠国備忘」という源頼朝が遠国島に訪れていたことを記す銅板が保存されています。

南伊豆町 A30 鯉名湊(現:小稲港周辺)

源平の戦いの中で、南伊豆の地が唯一戦場となった「鯉名の合戦」の地で、伊東祐親が富士川の戦いで平家に加わり、平家軍の戦艦を打ち破ったとされています。

伊東市 A23 伝伊東祐親の墓所

伊東家は、平安時代後期には、伊東市のみならず、河津町や伊豆市の一部を所領していました。源平合戦では、源頼朝からの打診を断り、平家への忠義をつくしたとされています。

伊東市 A24 音無神社

源頼朝と伊東祐親の娘八重姫のロマンスの地です。愛し合う二人が密かに会っていた場所がこの神社のある「おとなしの森」だったと伝えられています。

伊豆市 A18 指月殿

桂川を挟んで修禪寺と対する鹿山の麓にある伊豆殿古の木造建築。修禪寺で暗殺された2代将軍源頼朝の冥魂を祈って母政子が修禪寺に寄進したといわれる経堂です。

伊豆市 A19 宮湯

2代将軍源頼朝が入浴したという伝承のある名湯です。源頼朝は、この温泉に入浴中に腫れ上がったと言われています。

清水町 A13 対面石(八幡神社)

清水町の「八幡神社」の境内にあり、1180年の富士川合戦の折に、源頼朝と奥州から駆けつけた義経の兄弟が対面した時に腰かけたと言われる石です。

伊豆の国市 A14 北條寺

北条義時が創建した寺。大蛇に襲われ命を失った嫡子のために七堂伽藍を建立したと伝わっています。境内には北条義時夫婦の墓があります。

伊豆の国市 A16 燈ヶ島

平治の乱に敗れた源頼朝は、平清盛の母・池裡尼の命乞いによって伊豆の燈ヶ島に配流されました。周辺は公園として整備され、頼朝と政子の像「燈ヶ島の夫婦(ふたり)」が建てられました。

伊豆の国市 A15 願成就院

源頼朝の奥州藤原氏征討の戦勝を祈願して、北条時政が建立したお寺で、境内には北条時政のお墓があります。大御堂では、運慶作の国宝の仏像5体が拝観できます。

伊豆の国市 A12 鮎壺の滝

源頼朝が富士の巻狩の際、亀鶴の美観を聞き、招こうとしたが、亀鶴は応ぜず滝に身を投げたと言われています。県の天然記念物に指定されています。

長泉町 A11 頼朝井戸の森

富士の巻狩りを富士山麓で行った際、頼朝が水を汲むために杯で飲んだ湧き水だと伝えられています。その水源地の森を「頼朝井戸の森」と呼ぶようになりました。

裾野市 A11 頼朝井戸の森

富士の巻狩りを富士山麓で行った際、頼朝が水を汲むために杯で飲んだ湧き水だと伝えられています。その水源地の森を「頼朝井戸の森」と呼ぶようになりました。

御殿場市 A10 駒門風穴

鎌倉幕府二代将軍源頼朝による「富士の巻狩」の際、家来の仁田忠常に命じて探検させた風穴と言われています。風穴の中心には頼朝と名付けられた窟があります。

小山町 A09 足柄路

源頼朝が上洛時に往復したと伝えられています。静岡県側と神奈川県側を結ぶ足柄路は、奈良・平安時代の東海道です。

